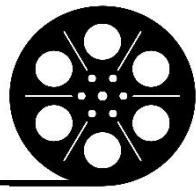


かしきな 映画フィルムで あそぼう！

16 mm film cinecalligraphy



描いた絵が
動き出す！?
映画フィルムに、



★みんなの市民会館フェス 一環イベント

運営：マネキネマ

お問い合わせ：090-9775-7305

主催：松山市民劇場

次世代えひめ文化協議会

協力：松山市文化ことば課、松山市民会館

2026.3/21 (土) 13:30~15:30

松山市民会館 第1会議室 (1F)

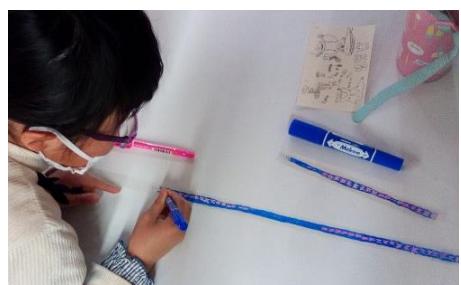
定員 20名※小学生以上
参加無料（要申込・先着順）

申し込み方法：Google フォームから入力してください。



えいが 映画フィルムってなに？

1895年、リュミエール兄弟がフランスのパリで観客を集めてみせたのが「映画」のはじまりとされています。このとき登場し、使われはじめたのが映画用のフィルムです。撮影した写真が連続して焼きつけられている長く巻かれたフィルムを、「映写機」の光によってスクリーンに映し出したのです。動く映像をはじめてみた人々は大変おどろいたといわれています。



その後、世界中に広まり進化していきますが、「映画を見る」ことは「フィルムで見る」ことだった時代が100年以上続き、「Film」は「映画」を意味する言葉としても使われました。デジタル技術が発達した現在ではフィルムが使われることは少なくなりましたが、映像が動いてみえる原理は同じです。また、その独自の「質感」はいまでもクリエイターたちに愛され続けています。今回使うのは、何も焼きつけられていない透明な「16ミリフィルム」です。細くて長いフィルムに色を塗ったり、絵を描いたりして楽しんでください。できあがりを映写機で上映します。